

# KEYAK!

5月号

まだ寒かったり暑かったりが続いていますが、園を取り巻く木々はすっかり緑一色になりました。園の状況はといえば、子どもたちはまだまだ同じ色にはなりません。逆に今何色の色が混在しているかも分かりません。多分 50 色以上は軽くありますね。それに加えて、その日によって色が変わる子もいたりしてカメレオンのようです。そういえばかつてカメレオンを飼育していたことがあるのですが、まさに！ 前後にのっそりしているかと思えば急に俊敏になったり、眼を片方ずつキョロキョロさせながら周りをうかがっています。子どもたちも様子をうかがっている真っ最中なのだと思えます。

年長さんではヒヨコが生まれました。その後のすったもんだはそれぞれのクラスごとの物語になっていくのですが、ヒヨコはタマゴから出てくるとき、タマゴの真ん中辺にまずくちばしで穴をあけ、次にその隣、その隣と穴をあけて点線のような状態にしてから体の力を使ってぱかっと綺麗に 2 つに割って出てきます。本能と言ってしまえばそれまでですが、まあよくこんな上手に出てこられるもんだと感心します。

タケノコもぐんぐん伸びてきています。気が付けばもう食べられないくらいの高さに成長していてちょっとがっかりするとともにあの伸びる速さには驚きます。

子どもたちは本能だけでは生きていけません。幼稚園に入ったからといって急にぐんぐん伸びてもいきません。人に助けてもらいながらタマゴよりマゴマゴしながら、人に接しながらぐんぐんよりだんだん、そして知恵をつけながら確実に成長していくのだと思えます。

いずれにしろ、成長は後からついてくるもの。園生活ではそのためにできること、「どうして誰にも聞いてないのにちゃんと生まれてこれるんだろ？」「何なら食べるんだろ？」「タケノコがなんで竹になるんだろ？」「中ってどうなってんの？」「もっとこうなってたら面白いのに！」などなど、想像と空想と観察とやってみようを繰り返しながら、興味・関心のきっかけをつくって、先生たちとそれを面白がりながらいろいろな知恵と工夫を身に付けていってほしいと願っています。

## 今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）

3歳

- ・ 一人遊びを充分楽しむ
- ・ 友達の名まえやマークに興味をもつ
- ・ みんなでいるところで遊んだり、見たり聞いたりすることの楽しさを知る
- ・ 園生活の流れがわかり、身の回りの始末を自分でやろうとする

4歳

- ・ 園生活のリズムになれて活動や遊びにすすんで参加しようとする
- ・ 自分の意見が言える（うれしいことや悲しいことを自分なりの言葉で表す）
- ・ 相手のことも聞こうとする

5歳

- ・ 自分がしたいと思う遊びをくりかえし楽しむ
- ・ 今日、明日何をするという短期の目的だけでなく、比較的長期の見通しが漠然とでもわかって行動できる
- ・ 互いに言いたいことが言える（認め合い）